

拡大情熱委員会事業計画

拡大情熱委員会 委員長 薄井 厚男

我々が組織として成長し運動発信力を高める上で、数はJ C運動を強く推進させる力となります。真岡J Cの過去最大人数は107名9委員会であり、当年は69名6委員会のスタートであります。発信力を更に向上すべく、自らも青年経済人として成長するとともに、この魅力ある組織を未来へ引き継ぐ使命を担う我々が、情熱を持って未来を語り、熱狂を生む行動力で周囲を巻き込み、活動を発展させていくにはより多くの仲間が必要です。

まず、メンバー間の団結力を図り、拡大において一体感のある組織にするために、当委員会メンバーが他委員会に出向し、委員会や例会を補助し共に作り上げ、且つ常に拡大を唱え続けることにより、メンバー全員の強い拡大意識を醸成します。そして、全員で行う拡大運動を実行するために、理事会内で候補者の情報や拡大進捗状況を伝える機会を頂き、全メンバーへの伝播の徹底をし、拡大成功の喜びや感動を共有します。さらに、J C運動の発展における意識向上を図るために、様々な候補者がJ C活動に興味を持てる交流会を企画し運営することで、新たな仲間を迎え入れ、発信力を向上することで、地域を巻き込むJ C運動をより促進します。また、拡大成功の喜びの共有や進捗状況を確認するために、適時において拡大会議や拡大ローラーを実施することにより、目標達成意識の構築をすることで、LOM全体での拡大に対する組織結束力を更に高めます。そして、未来に向けた新たな活動を創出するために、共に活動してきた卒業生の新たな旅立ちに華を添えられる卒業式を設営し、先輩方の活動に触発されJ C活動に対する各々の情熱を創出します。

情熱を持って行動し共感を得ることで多くの仲間を迎え入れた我々が、情熱溢れる行動力で市民を巻き込み大きなムーブメントとなる運動が展開され、受け継がれる高い志を継承しつつ、地域発展のためのまちづくりを牽引する団体となります。誰かの笑顔のために。

<事業計画>

1. 真岡青年会議所日本一に飛躍するための拡大運動
2. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力